

野洲支部主催「納涼会」結果報告

今年は梅雨明けが遅く、8月になってようやく本格的な夏の到来という例年と違った気候ですが蒸し暑さは一段と厳しいものとなりました。納涼会は予定通り8月9日に開催しました。ただ、前日から当日の昼にかけて台風10号が近畿地方を直撃しどうなるものかと一時ヤキモキしましたけれど、みんなの祈りが天に通じたか午後からは台風一過の好天に恵まれ、会員・ご家族18名が参加しました。開催場所の京都五条では、当日「陶器祭り」が行われていたため、参加者のひとり平野正さんに案内役をお願いして納涼会開催前に五条坂一帯を散策することとなりました。午後4時30分に集合して陶器市を中心に、六波羅蜜時（藤原時代、開基は空地上人）、六道珍皇寺（六道まいりで精霊を迎える所）の参詣、キリシタン殉教地（52人のキリシタンが処刑された六条河原）の見学を行い、改めて古都の風格を感じ取った次第です。午後6時30分鴨川のほとりに設置した川床で納涼会が始まりました。提灯の灯に照らされ鴨川の流れが涼風を呼び、台風一過で澄んだ空には月、星が輝く絶好の舞台で「すずみ料理」を味わいながら久しぶりの再会で会話も弾み夫々に思い出を刻んだひとときを過ごしました。そして9時過ぎに三々五々別れを惜しみながら次の再会を約束して帰途につきました。



(担当：柴原 喬)